

# 第15回 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会 議事要旨

- ◆日時 令和4年3月25日（金）14時00分～15時30分
- ◆会場 南あわじ市役所第2別館2階第5会議室
- ◆出席者 委員：7名  
松坂委員（委員長）、登里委員（副委員長）  
浅井委員、鈴木委員、金沢委員、今田委員、福成委員  
事務局：4名  
総務企画部付部長、ふるさと創生課長、ふるさと創生課担当2名  
傍聴者：1名

## ◆会議の概要

### 1. 開 会

委員長あいさつ

### 2. 協議事項

#### ■第2期南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略（改定案）について

事務局より、施策の実効性をより担保するために改定したKPIや、新たに総合戦略へ位置付ける事業を中心に説明を行った。

#### 【委員の主な質問・意見・評価】

#### 基本目標Ⅰ：地域ぐるみで支えあい、笑顔がたえないまち

##### ○健康で安心して暮らせるまちづくり

- ・委員：定期的に病院で健康診断を受けている人についても、例えば補助制度を創設するなどにより状況を把握することで、より市民の健康づくりにつなげられるのではないか。

##### ○地域力を創造するコミュニティの構築

- ・委員：地域づくり事業の状況は。

→9地域で10の事業が進められている。例えば福良地区においては、人の流れを取り戻せるよう、食べ歩きができる店を出店するなど、賑わいを取り戻す取り組みが進められている。

#### 基本目標Ⅱ：働く場を得て、ずっと住み続けたいまち

##### ○田舎暮らしの促進

- ・委員：介護・看護人材確保対策事業の具体的な目標人数は。子育て世代の人に来てもらえるのが一番良いことだと思う。

→市内の事業所にアンケートを行ったところ、人材不足である旨を改めて確認できた。予算としては、まずは3人分を確保しているところ。

- ・委員：安心して子育てできる環境があれば、来ていただいた方のネットワークで他の移住

者を呼び込む好循環が生まれてくる。相談にきめ細かく対応できる体制も重要。

- ・委員：移住PRのためのテレビコマーシャルを流している自治体もある。何度も見ているとやはり印象に残るので、PRの方法についても検討を。

### 基本目標Ⅲ：魅力と味力があふれるまち（ふるさと）

#### ○淡路島特有の再生可能エネルギーと新産業の創出

- ・委員：バイオマス資源の量については、施設での処理量に上限があり、最終的に頭打ちになってしまうのではないか。

→農業生産量が減ってしまうとバイオマス資源の発生量が減ってしまうので、農業の担い手確保を進める取り組みにも力を入れ、数値を維持できるよう努めたい。

#### ○農畜水産物の高付加価値化

- ・委員：新商品の開発に関しては、加工を地域内でできていないことが課題。地域内で生産と加工を行い、様々なところに出荷していくことが重要。また、味だけでなく見た目や価格、発信力が大切であるため、南あわじブランドの確立を。

### 基本目標Ⅳ：子育て環境の向上と教育の充実

#### ○安心して子どもを預けられる環境整備と保育サービスの向上

- ・委員：孫育て応援講座など、子どもが親以外の大人とかかわりを持つような取り組みが進められてきていると感じる。アフタースクールについても、おもいやりポイントの活動の場としていければよいと思う。

#### ○子どもたちが安心して通学できる環境整備

- ・委員：グリーンベルトの整備に力を入れるようになったきっかけは。  
→これまでも力を入れて取り組んでは来たが、さらに加速化させていくことになったきっかけは、子ども議会において通学路が危ないとの声が上がったことで、地域や議会からも子どもの交通安全対策についてのご意見をいただいた。
- ・委員：学校の前の横断歩道であっても一時停止しない車がいる。もっと交通安全の啓発が必要であると感じる。

改定案について、委員より承認をいただいた。

## 3. その他

## 4. 閉 会

- 閉会にあたり、登里副委員長よりごあいさつをいただいた。